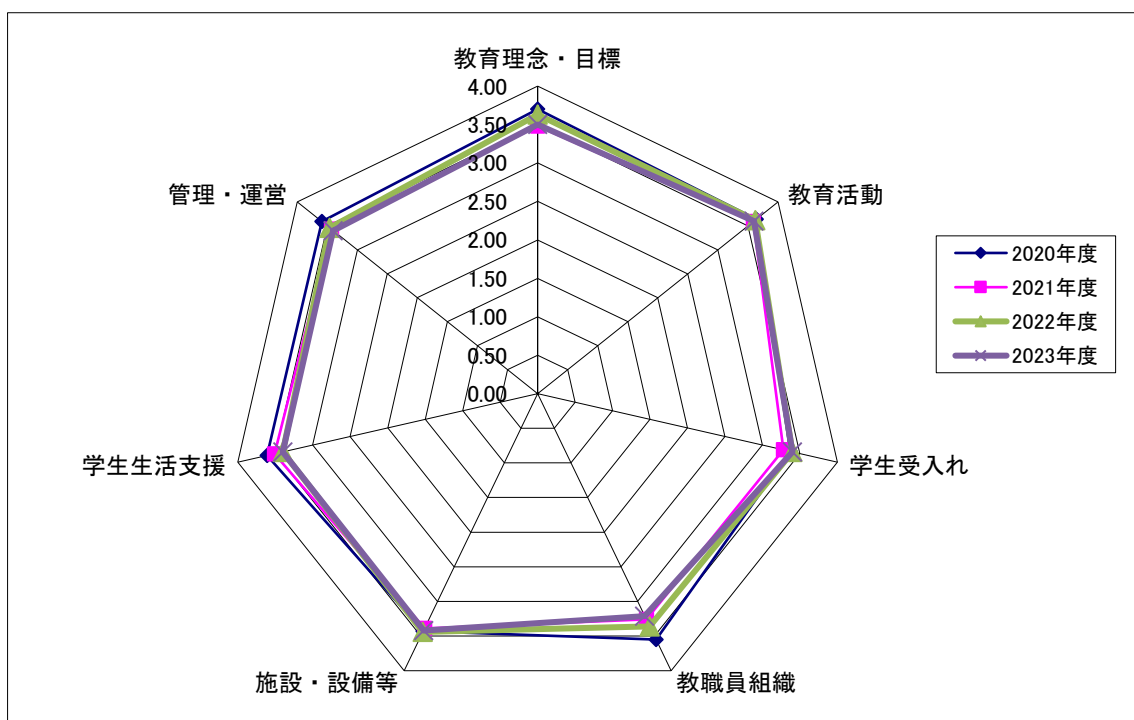


2023年度 医療ビジネス観光福祉専門学校 自己点検・自己評価

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育理念・目標	3.70	3.48	3.63	3.50
教育活動	3.64	3.59	3.62	3.60
学生受入れ	3.37	3.28	3.40	3.40
教職員組織	3.55	3.26	3.36	3.21
施設・設備等	3.43	3.39	3.44	3.42
学生生活支援	3.61	3.51	3.40	3.40
管理・運営	3.59	3.43	3.46	3.40
平均(4点満点)	3.56	3.42	3.47	3.42



総合評価

全体では2023年度も全体の平均点は3点を越えたものの、7つの大項目の値は全て前年度を若干下回ってしまった。全体的な改善が求められるところである。

中項目単位で平均点が3点に満たなかった項目は2つあり、このうち1項目は数年連続して3点を満たしておらず、この点についての早急な対応が課題であるため、全学挙げて検証し改善を推進する必要がある。

具体的には「3-6 定員充足率」である。各学科の慢性的な定員不足解消に向けて、日本人のみならず優秀な外国人留学生の確保に向け、積極的な学校訪問、学校主催の体験授業・説明会実施に向けた営業活動の実践、SNS等による効果的な学校PRを強化することが不可欠である。さらに定期的に広報会議を開き、教職員全体で意見交換・情報共有をし、教職員一体となった広報活動の展開に努めていく。また、オープンキャンパスにおいては学生広報を活用し、入学後のイメージがつかようなイベントとするとともに帰属意識の向上を目指すべくアプローチを行うことが肝要である。

また、もう一つの未達項としては「4-6 職員数」となっており、医療ビジネス学科ITコースの教員が1名が欠員となっていること、事務課職員2名が欠員となっていることが要因となっているため、早急に人材の確保に努めなくてはならない。

以上の項目以外の課題にも常に目を向け、教職員全員で検証し改善点を見つけ出し改善の実践を行うことで自己評価の向上に結び付けていく。